

茨城三菱自動車販売株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年04月～2024年03月)

作成日： 2024年5月31日

環 境 経 営 方 針

<環境理念>

茨城三菱自動車販売株式会社は、三菱車の販売・整備など全ての関連する事業活動を通じて、環境問題への対応や、環境保全活動が重要課題であることを認識し、下記の方針を掲げ自主的に環境保全活動に取り組みます。

<基本方針>

1. 環境マネジメントシステムの運用と改善
環境保全活動を推進するため、環境目標を定め、環境マネジメントシステムを運用し、改善を図ります。
2. 環境に関する法令・規則や三菱自動車工業(株)の方針等を遵守します。
3. 環境への負荷を低減するため、次の項目を重点に取り組みます。
 - (1)省資源、省エネルギーの推進
 - ・電力、ガソリン等のエネルギー資源使用量の削減
 - ・エコドライブ、エコ整備の推進
 - (2)水使用量の削減
 - (3)廃棄物の排出抑制と適正処理
 - ・産業廃棄物、一般廃棄物排出量の削減
 - (4)化学物質の適正管理
 - (5)環境配慮車両の普及
 - ・EV(電気自動車)及びPHEV(プラグインハイブリッド車)他
4. この環境経営方針は、全社員に周知すると共に、社外にも公表いたします。

制定日： 2019年4月1日

茨城三菱自動車販売株式会社
代表取締役社長 木村 英明

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

茨城三菱自動車販売株式会社
代表取締役社長 木村 英明

(2) 所在地及び他店舗

本 社	〒310-0851	茨城県水戸市千波町海道付1982	029-241-1201
水戸千波店	〒310-0851	茨城県水戸市千波町海道付1982	029-241-1201
下館店	〒308-0063	茨城県筑西市神分51	0296-24-5211
日立店	〒316-0024	茨城県日立市水木町1-28-10	0294-52-5201
勝田店	〒312-0052	茨城県ひたちなか市東石川26-2	029-354-1111
クリーンカー勝田	〒312-0042	茨城県ひたちなか市東大島2-19-3	029-275-0411

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 常務取締役営業本部長 山田 昌美 TEL : 029-241-1201

担当者 事務部 外山 順啓 TEL : 029-241-1201

(4) 事業内容

新車・中古車・部品の販売、自動車整備業、保険代理店業務

(5) 事業の規模

売上高 2,199,764千円 (2023年4月1日～2024年3月31日)
新車販売台数 484台 (2023年4月1日～2024年3月31日)
中古車販売台数 306台 (2023年4月1日～2024年3月31日)
整備入庫台数(注) 13,098台 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(注)整備入庫台数には、社内売上台数は含みません。

2024年3月31日現在

	本社及び 水戸千波	下館店	日立店	勝田店	クリーンカー勝田	
従業員	37名	9名	10名	11名	2名	
延べ床面積	2,524㎡	780㎡	682㎡	1,536㎡	152㎡	

従業員合計 69名

(6) 事業年度 4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 茨城三菱自動車販売株式会社

対象範囲： 本社及び水戸千波店

下館店

日立店

勝田店

クリーンカー勝田

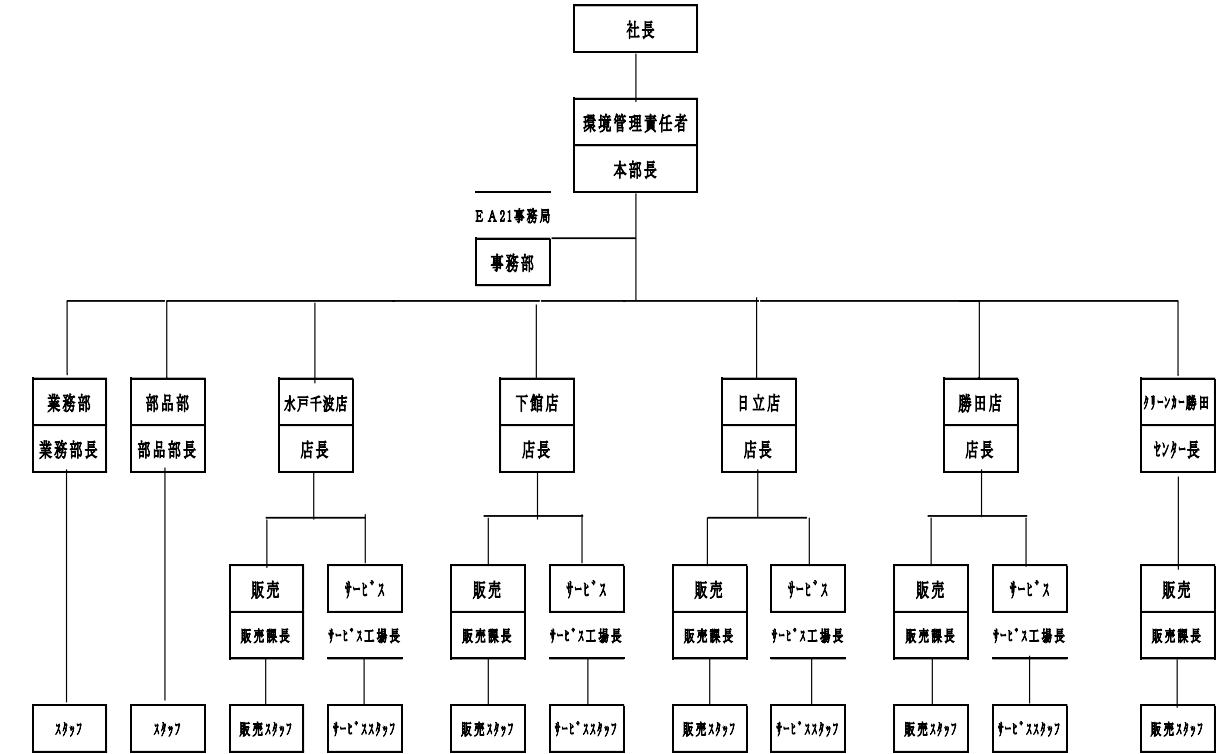
活動： 新車・中古車・部品の販売、自動車整備業、保険代理店業務

茨城三菱自動車販売株式会社は全ての事業活動及び全ての組織を認証・登録の対象としている。

□活動体制表

対象の範囲及び組織図

全店舗、全事業を対象とする。



	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者 (社長)	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・情報・人を用意 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施・課題とチャンスの明確化
環境管理 責任者	・環境経営システムを構築・運用する（代表者からEA21の権限を委任） ・実施体制の構築（組織図及び役割・責任・権限） ・環境経営目標・環境活動実施計画書/実績表の作成 ・教育・訓練の実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備・対応 ・環境経営レポート作成 ・環境経営活動の取り組み結果を代表者へ報告
EA21事務局	・EA21の推進（環境管理責任者の指示を受けて） ・環境への負荷及び取組チェック実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価実施 ・環境関連文書・記録の管理
各部・店長	・外部環境情報の窓口 ・環境経営目標及び環境活動計画の実施・確認・評価・達成状況の報告 ・環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理 ・実施上の問題点の是正・予防処置実施
全従業員	・環境経営方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・EA21で決められた各自の役割を実施

□環境経営目標及びその実績

評価基準 目標達成 ○ 目標未達 ×

項 目 年 度		2021年	2023年			2024年	2025年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(評価)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年度比	160,438	157,230 98%	154,604	○	155,625 97%	154,021 96%
ガソリン・軽油の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年度比	119,671	117,277 98%	123,255	×	116,081 97%	114,884 96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2 基準年度比	280,109	274,507 98%	277,859	×	271,706 97%	268,905 96%
一般廃棄物の削減	kg 基準年度比	17,051	16,710 98%	16,437	○	16,539 97%	16,369 96%
産業廃棄物の削減	kg 基準年度比	45,310	44,404 98%	34,670	○	43,951 97%	43,498 96%
節水	m ³ 基準年度比	2,230	2,185 98%	2,170	○	2,163 97%	2,141 96%
環境配慮型車両の販売台数アップ	台 基準年度比	156	159 102%	225	○	161 103%	162 104%

※1 購入電力の排出係数は2019年度の東京電力エナジーパートナー（株）の調整後排出係数0.441kg-CO2/kWhを使用しています。

※2 2023年度 二酸化炭素 総排出量は278,828kg-CO2です。

□環境活動の取り組み計画と評価

※2023年4月～2024年3月の12ヶ月の活動取組と評価をしております。

◎よくできた ○ほぼできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・冷房温度28℃設定とクールビズ運動	△	照明等に関して例年同様しっかり取り組めております。また、冷房に関しては、温暖化の影響、気象条件によっては設定温度以下での使用が見られました。各部店定期的にエアコン清掃の実施、従業員の健康管理を考慮しつつ空調温度の適正化に取組みをしていきます。
・暖房温度の20℃設定とウォームビズ運動	○	
・昼休みの消灯	◎	
・不要照明の消灯	◎	
・OA機器の省エネモード設定	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・エコドライブの励行(エコドライブ10)	○	昨年同様、車両使用状況及び対象車両の点検実施等は良好な状況となっております。従業員増、それに伴う営業活動等も増えており、目標は達成出来ませんでしたが、引き続きエコドライブを継続し、燃料使用量削減に取り組んでいます。
・タイヤ空気圧の定期確認	○	
・車両整備(定期点検)の実施	◎	
一般廃棄物の削減		
・使用済み用紙の裏紙使用、両面コピーの活用	◎	両面コピー、裏紙使用等の再利用、ごみの分別に関しても確実に実施している。業務改善を更に進め、ゴミの排出量削減に向け取組むと共に、廃棄・古紙リサイクルの分別を継続していきます。
・段ボール、新聞、チラシ等を古紙としてリサイクル化	○	
・ごみの分別(シュレッダー・リサイクル、可燃、不燃等)	○	
産業廃棄物（廃プラ等）の削減		
・資源ごみの分別徹底	○	基本行動でもある5S5定に基づき、排出量の削減、分別の徹底、廃棄物置場の整理を継続していきます。
・トナーカートリッジの回収等	◎	
化学物質の適正管理		
・仕入在庫数量の管理	◎	使用量は極めて少ないが、仕入在庫数量の管理及び取扱において適正に使用管理がされております。引き続き取組みをしていきます。
・取扱上の適正管理	○	
節水		
・清掃・洗い物の際、かけ流し禁止	○	寒冷時に設備上、使用量の増加が見られる店舗はあるが概ね良好である。今後も目標達成に向けて継続していきます。
・洗車時の水圧等調整	○	
環境配慮型車両の販売台数アップ		
・販売スタッフの商品知識・商談スキル向上	○	昨年に比べると減少となったが積極的にお客様にご提案をしています。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用となる主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	要求事項	遵守確認
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正保管、マニフェストの交付、回収委託契約書の締結・更新、産業廃棄物管理票交付等状況報告の提出	○
大気汚染防止法	排ガス基準測定	○
騒音・振動規制法	特定施設の届出	○
水質汚濁法・下水道法	特定施設の届出	○
浄化槽法	浄化槽の設置届出、保守点検及び清掃	○
消防法（危険物）、火災予防条例	少量危険物貯蔵所の届出	○
自動車リサイクル法	引取業者登録	○
フロン排出抑制法	業務用空調機の定期点検、点検記録・保存	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等において問題ありませんでした。
なお、訴訟等は過去5年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

経済活動は活気が戻るも、地政学的リスクの影響によりエネルギーコストの上昇、部品供給量の制限等難しい状況の続いた中での活動・取組だったと思う。

今期の結果として、人員増や販売・修理共に業務量増加等の影響もありガソリン・軽油使用量によるCO2排出量削減は目標に届かなかった。社員1人1人が意識し、工夫することで目標達成に向けて取り組むこと。

産業廃棄物削減に関しては分別を徹底してゴミにせず再資源化となる活動を更に進めること。これまで同様目標・活動については、全員がしっかりと意識・確認をして実施していくこと。

□環境・社会貢献活動

○さんあいロード美化活動推進委員会活動参加

県道水戸神栖線(県庁舎周辺地区)沿線に居住、業務を営む者が道路の除草及び清掃等を行い、道路環境の向上と地域の融和を図る活動

- ・毎月第二木曜日の清掃活動
- ・里親としてのプランター(2基)の維持管理



○水戸黄門漫遊マラソン、勝田全国マラソンボランティア活動

県内外から1万人を超えるランナーが日本三庭園の偕楽園、千波湖など水戸の名所を駆け抜ける水戸黄門漫遊マラソンや、60回以上の開催を誇り、こちらは2万人以上のランナーが参加する勝田全国マラソンの両大会に、大会運営車両提供、ボランティア派遣、ランナー参加と地元を盛り上げています。



○ECOキャップ活動

各店舗から使用済ペットボトルキャップを回収

ECOキャップ活動を各店舗受付で案内していることから、お客様も積極的にご協力頂けています。2023年度実績40.6kg (ポリオワクチン 約20.3人分)

